

日本地衣学会 No.153 ニュースレター

Newsletter from the Japanese Society for Lichenology

目次

会務報告	589
日本地衣学会第17回観察会（佐賀県西松浦郡有田町，黒髪山と竜門峡周辺； 2018年9月）報告／中嶋 裕之	589
お知らせ	591
ニュースレター編集委員会からのお知らせ／坂東 誠	591

会務報告 *Reports of the JSL Activities*

日本地衣学会第17回観察会（佐賀県西松浦郡有田町，黒髪山と竜門峡周辺； 2018年9月）報告

Report of the 17th JSL Field Meeting in Saga, September 2018 / by NAKASHIMA Hiroyuki

>>>>>>> 中嶋 裕之：地域活性化委員

第17回観察会は，9月15日～16日，秋田県立大学名誉教授山本好和先生を講師として九州地方で初めて開催されました。秋田県立大学の原光二郎先生，案内役である地元の松尾優氏，久留米高専の学生及び卒業生を含めて7名が参加しました（図1）。2日間のスケジュールは以下の通りでした。

* * *

9月15日（土曜日）

- 13：00 JR 有田駅集合，自家用車で黒髪山へ
- 14：00 黒髪山周辺で地衣類観察
- 18：00 竜門峡入口龍泉荘で夕食
- 20：00 「幸楽窯」ゲストハウス泊



図1. 観察会参加メンバー。

9月16日（日曜日）

- 9：30 ゲストハウス発，JR 有田駅を経て竜門峡
ムへ

10:00 竜門ダム周辺、有田ダム周辺で観察会

15:00 JR有田駅で解散

* * *

1日目、JR有田駅に集合し、参加者の車に便乗して観察地の黒髪山に向かいました。途中、アリノタイマツプロジェクトの採集地でもある陶山神社に寄りましたが、アリノタイマツの子実体がまだ成長しておらず、今回は写真に収めるにとどめました(図2)。



図2. 陶山神社のアリノタイマツ.

黒髪山登山道入口(一の鳥居)から黒髪神社まで車で上り、神社周辺で地衣類の観察をしました。黒髪神社から山頂付近に生育するイワタケを見るために山頂を目指すことになりました。登山への心の準備がなく、突然かつ久しぶりの運動に汗だけで登りましたが、数年ぶりのイワタケ(図3)に感動しました。



図3. 黒髪山付近のイワタケ.

山頂付近には、その他ザクロゴケ、ヒメイワタケ等がありました。下山途中、オオマルゴケ、モジゴケ、スジモジゴケも見られました。

今回の宿泊は、有田焼の窯元の1つ「幸楽窯」が経営するゲストハウスでした。

夕食にはその宿泊地から2日目の観察地竜門峡までの途中にある創作川魚料理の店として有名な「龍泉荘」に向かいました。皆さん鯉料理は初とのことでしたが、鯉の洗い(図4)や鯉こく、鰻のかば焼きに舌鼓を打たれていました。



図4. 夕食の鯉の洗い.

2日目は、竜門峡に場所を移し、観察会を続けました(図5)。竜門峡は竜門ダムの上流に位置し、「21世紀に残したい日本の自然百選」にも選ばれている美しい渓谷です。

ここにはキャンプ場もあるのですが、連休ということもあり駐車場には早くから多くの車が止まっていました。

駐車場周辺の樹木表面に生えたヒョウガニセザクロゴケの橙色の子器が鮮やかでした。

東の沢沿いに上っていくと、アオジロアナイボゴケ、アオキノリが岩石上に見られました。樹木の幹にはチチレカブトゴケモドキ、マルゴケ、カブレゴケが、葉にはアオバゴケが観察されました。

昼食後、再びキャンプ場周辺の樹木の幹表面を観察しました。ヒカゲウチキウメノキゴケ、スジモジゴケ、ダイダイサラゴケ等を見て、竜門ダム の西側に移動しました。秋には紅葉狩りで有名なところですが、道路脇の山肌にはヒメヤグラゴケとトゲシバリが群をなしていました。また、近くの石碑表面にはヤマトキゴケが見られました。

14:00 を過ぎ、途中有田の陶器店に寄りながら車で竜門峡から JR 有田駅に向かい、2日間の観察会を終えました。



図5. 竜門峡周辺の観察。

お知らせ News and Announcements

ニュースレター編集委員会からのお知らせ

From Editorial Board of the JSL Newsletter / by BANDO Makoto

>>>>>>> 坂東 誠：ニュースレター編集委員長

電子メール受信制限と受信制限対処方法についてのお知らせ

ニュースレター編集委員会では、会員の皆様からの原稿を随時募集しており、電子メールでの投稿をお願いしておりますが、当方の電子メール受信については、主に以下のような制限があります。

- フリーメールは一部を除いて受信できないことがあります。
- 電子メールの送信データ容量が過大な場合には受信できないことがあります。
- セキュリティソフトが脅威を検出した電子メールは受信できません。
- その他、インターネットサービスプロバイダ等による規制などの影響を受けた電子メールは、正常に受信できないことがあります。

* * *

ニュースレター編集委員会では、電子メールでの投稿を受信した場合、原則として2週間以内に、電子メールで何らかの返信をするように心掛けております。もし、電子メールで投稿をした後、2週間以上経っても、ニュースレター編集委員会からの電子メールによる返信がない場合には、投稿していただいた電子メールをニュースレター編集委員会が受信できていない可能性もありますので、別の（フリーメール以外の）電子メールを使用して再投稿していただく、あるいは電子メールの送信データ容量を小さくして（特に写真などの画像データを添付（貼付）している場合には、画像データを適度に圧縮して）再投稿していただく、またはセキュリティソフトを使用して電子メールから脅威が検出されない状態にしてから再投稿していただく

などの措置を講じていただけますよう、お願いいたします。

それでもニュースレター編集委員会からの電子メールによる返信が、電子メールで投稿した後、2週間以上経ってもない場合には、日本地衣学会のウェブページなどから、お問い合わせいただけますよう、お願いいたします。

なお、ニュースレター編集委員会からの電子メールによる返信は、原則として投稿していただいた電子メールアドレスにいたしますが、別の電子メールアドレスへの返信を希望される場合には、その旨を投稿していただく電子メールに書き添えていただけますよう、お願いいたします。

◆原稿募集

本誌は、会員からの原稿を随時募集しています。地衣類にまつわるエピソード、思い出、あるいは地衣類に関する写真とタイトル、簡単な説明文だけでも受け付けます。電子メールにて次のアドレス宛に投稿御願います：
bandomakoto@aa6.mopera.ne.jp (坂東 誠)

●複写される方へ

本誌に掲載された著作物を複写したい方は、(社)日本複写権センターと包括複写許諾契約を締結されている企業の従業員以外は、図書館も著作権者から複写権等の行使の委託を受けている次の団体からの許諾を受けてください。著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、直接本会へご連絡ください。

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル 学術著作権協会。

Tel: 03-3475-5618. Fax: 03-3475-5619. E-mail: naka-atsu@muj.biglobe.ne.jp

アメリカ合衆国における複写については、次に連絡してください。

Copyright Clearance Center, Inc. 222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA.
Phone: (978) 750-8400. Fax: (978) 750-4744

●Notice about photocopying

In order to photocopy any work from this publication, you or your organization must obtain permission from the following organization which has been delegated for copyright for clearance by the Japanese Society for Lichenology.

Except in the U.S.A.: Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC).
6-41 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo 107-0052
Japan. Tel: 81-3-3475-5618. Fax: 81-3-3475-5619.
E-mail: naka-atsu@muj.biglobe.ne.jp
In the U.S.A.: Copyright Clearance Center, Inc. 222
Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA. Phone:
(978) 750-8400. Fax: (978) 750-4744.

●*Newsletter from the Japanese Society for Lichenology*, no. 153, pp. 589-592: eds. Bando M., Kawasaki E., published by *the Japanese Society for Lichenology*, 27 Feb. 2019.

日本地衣学会ニュースレター153号

発行日：2019年2月27日

編集：坂東誠・河崎衣美

発行者・発行所：日本地衣学会

〒830-8555 福岡県久留米市小森野1-1-1

久留米工業高等専門学校 生物応用化学科内

©2019日本地衣学会 (© 2019 The Japanese Society for Lichenology)

本誌記事の著作権は日本地衣学会に属します。無断転載・無断複写等は固くお断りいたします。